

フレームメモリーに静止画を保存する(データ転送ソフト編)

★AW-HS50 に内蔵されている 2 つのメモリー(FMEM)に、静止画を保存して、バスの映像として使用することができます。

ここでは、PC から画像データを転送する「Data Transmission Software を使用する方法」について説明します。

(注意)本機で扱える画像フォーマットの形式は、ビットマップ(bmp)、JPEG(jpg)、TIFF(tif)、GIF(gif)、PNG(png)です

(ソフトウェアのダウンロード)

- ① 付属の CD-ROM から、ソフトウェア「Data Transmission Software」を PC(Windows のみ)にインストールする。

*「Data Transmission Software」は以下のサイトからもダウンロード可能です

https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/jp2main/soft/tool_hs50data_agree_j.htm

- ② AW-HS50 と PC を LAN ケーブル(直接接続:クロスケーブル、ハブ経由:ストレートケーブル)で接続する。

- ③ PC の IP アドレスを AW-HS50 と同じセグメントに設定する。 * AW-HS50 の初期 IP アドレス(192. 168. 0. 8)

(ソフトウェアの設定・操作)

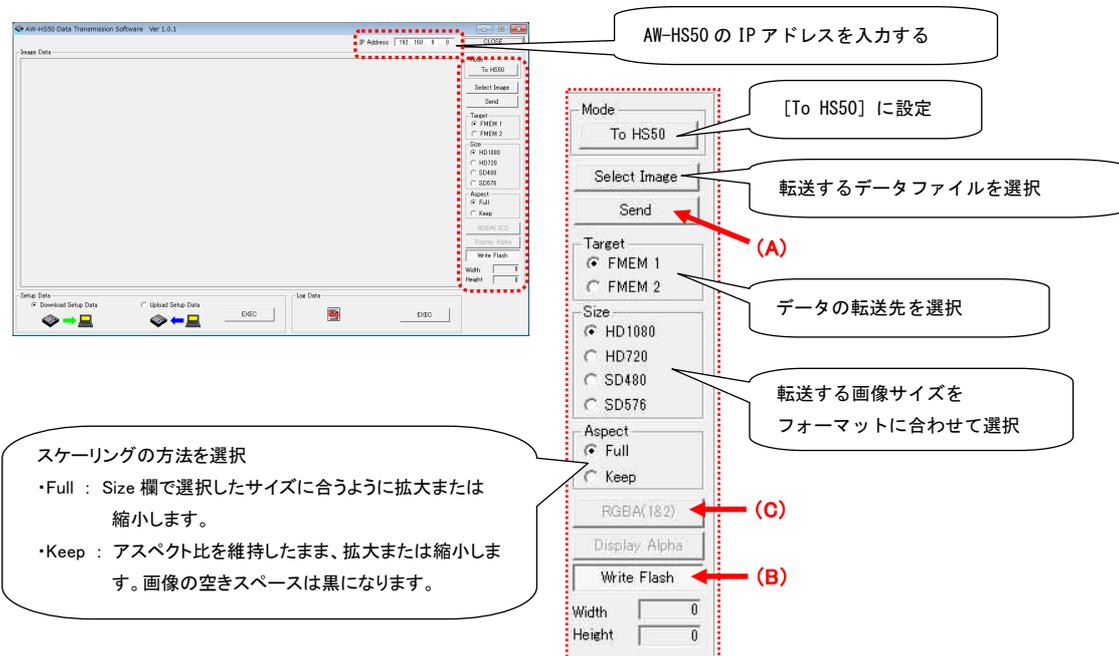
- ④ データ転送ソフトウェアを起動(HS50Tool.exe をダブルクリック)し、(下図 1)の設定をする。

- ⑤ Send 釦-(図 1-A)をクリックすると、データ転送し、メモリーにデータを保存します。

- ⑥ 転送した画像データを内蔵フラッシュメモリー領域に保存すると、電源を切ってもデータを保持することができます。

・[Write Flash]釦-(図 1-B) *選択時:データを保持します *解除時:データを保持しません

(図 1:Data Transmission Software 画面)



★アルファチャンネルが含まれている画像を転送する時は、[RGBA(1&2)]釦-(図 1-C)を選択することができます。

転送する画像データファイルを選択後、[RGBA(1&2)]釦をクリックし、[Target]欄で、FMEM1 を選択後、Send 釦をクリックすると、FMEM1 に RGB 画像が転送され、FMEM2 にアルファチャンネルの画像が転送されます。

★取り込んだ静止画は、マルチビューディスプレイや FMEM1または FMEM2 バス選択で確認できます。

* マルチビューディスプレイ表示は、予め出力信号の設定が必要です

(マルチビューディスプレイ画面)



取り込んだ静止画

以下の設定を [On] にすると、画像を取り込んだ後、
AUX バスにメモリーした映像を約 2 秒間表示します。

• [12] USER/FMEM > 6. AUX to FMEM ⇒ Rv: [On]